報 道 発 表 資 料
2022 年 3 月 29 日

報道関係各位

公益社団法人日本図書館協会

****

日本図書館協会　第 37 回　図書館建築賞
愛知県　安城市図書情報館，高知県　椋原町立図書館に決定

****

日本図書館協会が毎年 1 回行なっている図書館建築賞の第 37 回受賞図書館が決定しました。

受賞館：安城（あんじょう）市図書情報館（愛知県）

所在地：愛知県安城市御幸本町 504 番地 1
延床面積：9,244.19 ㎡
蔵書収容力：45 万冊
開館：2017 年 6 月 1 日
設計：三上建築事務所・清水建設設計企業体
図書館 HP：https://www.library.city.anjo.aichi.jp/

©Koji Horiuchi

受賞館：椋原（ゆすはら）町立図書館（高知県）

所在地：高知県高岡郡椋原町椋原 1212 番地 2
延床面積：1,938.31 ㎡
蔵書収容力：9 万冊
開館：2018 年 5 月 26 日
設計：隈研吾建築都市設計事務所
図書館 HP：http://kumonoue-lib.jp/

図書館建築賞は 1985 年に創設され、建築界以外の団体が特定用途の建築を顕彰したものとしては、日本で最初の賞となるものです。選考基準としては、建築としての質はもとより、その建築を活用した図書館サービスの質も評価対象となります。そのため、建築としての質はもとより、その建築を活用した図

書館サービスの質も評価対象としています。

2021 年度建築賞に応募のあった図書館は 4 館。全く異なる地域や行政規模をバックグラウンドとしている中で、それぞれの状況に応じた新たな図書館のあり方にチャレンジしていたことが特記できます。

設計時には全く予想もしていなかった長引くコロナ感染症により、市民が図書館に期待することも大分変わってきたことも否めません。このような世情の変化に如何に柔軟に対応できるハードとソフトを持ち合わせているかが今後の図書館に求められます。そして、そういう今だからこそデジタルのみに偏ることなく、人と人、人ともの、人と情報を繋ぐ対話のできる実空間と、その図書館を支える図書館情報専門家の更なる育成などが大切だとあらためて思われます。

感染症対策にご多用の折りにも関わらず、現地審査にご対応いただいた応募者各位及び各館関係者に感謝いたします。

授賞館の講評は、以下にも掲載があるので、参考にされたい。また『図書館雑誌 4 月号』にも掲載。

〇日本図書館協会　図書館建築賞ＵＲＬ
〈http://www.jla.or.jp/committees/shisetu/tabid/957/Default.aspx〉

〇報道解禁日・掲載希望日
報道解禁日：2022 年 4 月 1 日（金）
掲載希望日：2022 年 4 月 1 日（金）以降

【問合せ先】
公益社団法人日本図書館協会　図書館施設委員会担当　小泉
Tel：03-3523-0811
FAX：03-3523-0841
Email：shisetsu@jla.or.jp